

松江市：「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり ～カーボンニュートラル観光～

脱炭素先行地域の対象： **国宝松江城周辺エリア、松江しんじ湖温泉エリア、玉造温泉エリア、美保関観光旅館エリア、防災拠点群、市有遊休地群**

主なエネルギー需要家： 旅館・ホテル29施設、民間施設99施設、住宅377戸、公共施設70施設

共同提案者： 株式会社山陰合同銀行、ごうぎんエナジー株式会社、中国電力株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、日鉄環境エネルギーソリューション株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、東京海上日動火災保険株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、一般社団法人しまね産業資源循環協会、アースサポート株式会社、一般社団法人松江観光協会

取組の全体像

国際文化観光都市・松江のシンボリック存在である**国宝松江城**及び**周辺エリア**の観光施設や、**松江しんじ湖温泉**と**玉造温泉**、海沿いの景勝地である**美保関町**の観光旅館エリアにおいて、既存の卒FIT電力や新規の太陽光発電を活用した**再エネ100%の電力メニュー**を供給して脱炭素化するほか、温泉宿泊施設の給湯機器の省エネ仕様への転換・温泉熱の利活用により、**持続可能な観光の実現**を図る。旅行・宿泊・観光・交通事業者との連携によるカーボンニュートラルツアーで差別化を図り、「**住んでよし・訪れてよし**」の観光都市を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 景観条例により太陽光発電の設置が困難なエリアでは、**卒FIT電力**や**廃棄物バイオマス発電**(4,800kW)、市有遊休地にオフサイトPPAの太陽光発電(4,100kW)を導入し、家庭・法人向けの100%再エネ電力メニューを供給
- ② オフサイト太陽光発電と連結した**大型蓄電池**を活用し、統合的な充放電制御による需給管理を実施
- ③ 公共施設や温泉・宿泊施設へ**ソーラーカーポート等**(1,167kW)を導入
- ④ 廃棄予定の太陽光パネルの収集・検査・仕分けを行い、再利用可能なパネルを活用して**リユースパネル太陽光発電所**を整備



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 松江城の**堀川遊覧船を電動化**するとともに、観光地でのグリーンスローモビリティ等の導入を進め、再エネ100%で稼働
- ② 松江しんじ湖温泉・玉造温泉で**高効率ヒートポンプ給湯システム**を導入するほか、**温泉排水槽**で回収した熱を活用
- ③ 宍道湖・中海の**水草**や**林地残材**を廃棄物発電の燃料として活用
- ④ 観光客の避難先となる公民館にEV車やV2H等を導入

3. 取組により期待される主な効果

- ① 歴史的な街並みや景観の保存とカーボンニュートラルを両立させて、観光地としてのブランド力と防災力の向上を図り、住民や観光客が安心して生活・滞在できるまちづくりを推進し、**観光産業の活性化**による地域経済全体の回復と賑わいを創出
- ② カーボンニュートラルの長期持続に向けたリユース・リサイクルの促進や、未利用バイオマス資源の有効活用により、**資源循環型社会を実現**

4. 主な取組のスケジュール

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				家庭・法人向け電力メニュー提供
				公共施設・温泉・宿泊施設への太陽光発電・ソーラーカーポート導入
				コミュニティ蓄電池導入
				太陽光パネルのリユースパネル太陽光発電所の建設
				堀川遊覧船の電動化
				電動小型モビリティ導入
				高効率ヒートポンプ給湯システムの導入
				温泉排水熱利用システム導入
				ブルーカーボンの推進・水草や林地残材等の利活用